

# たけふ

TAKUSUI

9

2004年 September

No.575



ourhour  
フリースペース  
ア70ア7

<但馬漁船保険組合>

漁船事故防止の取り組み

うちの漁協! JF江井島

# CONTENTS

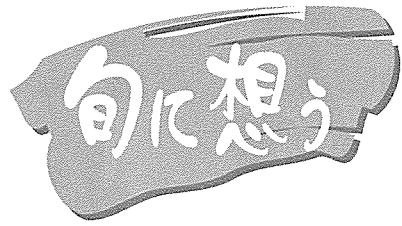
- 2 旬に想う  
オチの表情  
ほっとするフォトセラピー  
郷愁を呼ぶ「かやぶきの里」
- 3 REPORT  
～「第19回兵庫県漁業協同組合長懇談会」を開催～
- 4 フリースペース our hour  
漁船事故防止への取り組み
- 6 WTO情報  
WTO新ラウンド、枠組み大枠合意  
～WTO・FTAこれからが本番～
- 7 News 1  
マリンスクール開校
- 8 News 2  
香住高校漁業実習船で「水産少年教室」を開催  
8月号クロスワード正解と当選者
- 9 TOPICS  
行事予定  
教えて! あなたのすがお
- 10 兵庫JCC通信  
“日本玩具博物館コレクション「兵庫の郷土玩具」  
と「ちりめん細工」展”の開催について
- 11 ホントに知ってる?こっそり覚えよう! 兵庫のさかな  
イワシ  
丹波の森国際音楽祭  
シュールベルティアードたんば2004
- 12 ウチの漁協

ヒロ旗谷のPHOTO ESSAY

## ほっとするフォトセラピー

今月の表紙：郷愁を呼ぶ「かやぶきの里」  
—京都府・美山町にて—

隠れた山里にある畑は  
夏から秋になると  
真白なソバの花であたり一面染まる。  
ソバと聞けば麵のソバを連想する。  
手打ちのそば切りは日本人独特の好物。  
鯉節と醤油で味付けする日本の食文化。  
かやぶきの里・京都北方の丹波高原・美山町。  
由良川右岸の山裾に残る日本の原風景の集落。  
自然の恵みをいただいて建てた茅葺の家。  
周りの田畑からの四季の恵みを口にしながら  
囲炉裏を囲む暮らしが戻りつつある。



写真と文 遊方子



## オチの表情

◆推理小説の手法に、終幕近くでのドンデン返しというのがある。読者をアッと言わせて話を締めくくるには、作者の機知と手腕が要求される所で、少々の不都合があつても物語の上では許される。このオチの妙味に期待が集まるのである。夏の一日。兵庫と岡山県境近くの「ちくさ高原」へ出掛け、昼食のため三日月町の味わいの里へ立ち寄ったが、食堂は定休日で無人だった。がっかりしたが、食堂裏の花壇でアゲハが食事の真只中、モンキアゲハ・カラスアゲハも次々に姿を見せる。これは被写体として絶好だとカメラを向け、食いつ逸れた事もすっかり忘れ、動き回る蝶を追って、この日の思わぬ収穫となった。快いオチになったのである。

◆《落語》とは、文字通りオチのある話で、これが無いと落語は成り立たず、終末実際にオチが用意されている。オチはサゲとも呼ばれ、聴衆を物語の世界へ誘っておき、これはウソですよと現実へ戻して締め括る。オチは二種のぶち壊し作業であり、斬しの世界から現実へ引き戻し、なるほどと合点させなければならぬ。だから、落語は知的な話芸になつている。《東の旅》は、大阪を出て伊勢神宮を参拝し、大津京都を見物して帰阪する。その道中を面白く描いて、喜六と清八がボケとツツコミを演じて大いに笑わせる。人の一生も長い旅と同じである。始まりがあつて、必ず終わりを迎える。

◆ある主婦が、婚殿には他愛ない嘘を並べて、帳尻りを合

せて誤魔化しへソクリをする。そして合方を驚かす。素敵なオチを用意している。こんな罪は許容されて善しとすべきだろう。それが人を傷つけず、綺麗なオチであるなら、暮らしのアクセントにもなり、むしろ推奨できる悪とも言える。どんなに健康な者にも必ず訪れるのが《死》というオチである。走り続けた機関車も、やがて終着駅に到着する。生まれ出た時から、何時まで生きられるのかわらずに生きて来たが、確実なのは何時か生命は終わるということだけだ。静かな休息のような大往生こそ、私の願う終末のオチである。貧富の差が無くて、公平かつ平等に配分された唯一のモノと言えらる。

◆「終わり良ければすべて善し」という。初めや中途に多少の凸凹があつても無事に役目を終えれば、全てが上手く成就したことになる。立派な業績を残す著名人が、オチの寸前に罪を犯せば評価は棒引きされて水泡に帰す。また、どのような悪人でもオチの着く寸前に、他人に優しい行動をとれば、あれは善人だったという評価へと繋がる。「時良ければ万事善し」なのである。人間の価値観なんてのは、その程度のものでない。二重帳簿をつけて税をゴマかした犯罪では、首魁が逮捕され企業の重役連が頭を下げてオチとなつた。一番悪い奴は表面に出て来ないと言つて、悪い奴ほど遠くに居て、悠然としているものようである。オチの表情で怒りが生まれたり、笑いを誘われたりする。

去る7月26日、温泉町の旅館井づつやにおいて、第19回兵庫県漁業協同組合長懇談会が開催され、県下漁協の組合長等66名が出席しました。

当日は、丸一芳訓兵庫県漁連会長の主催者挨拶(下記記載)に続き、楠本水産課長より来賓のご挨拶を賜り、講演に移りました。

今年の懇談会の内容は、まず、第1部は「身近な危機管理」というテーマで、兵庫県企画管理部防災局長の北林 泰氏より食の危機管理をはじめ、阪神淡路大震災を経験した兵庫県がその経験を活かして、今後起こり得るであろう東南海・南海地震対策について講演されました。次に、第2部はオフィスなかかわ代表の中川政雄氏をお迎えして「協同組合に求められているリーダーとは」と題して、同氏独

自のリーダー論を語っていただきました。その内容を要約いたしますと、中川氏は地元信用金庫に入庫され、1971年に28歳の若さで、支店長に抜擢され、以来1991年まで7カ店の支店長として第一線で活躍されましたが、決して順風満帆で来られたのではなく、だめ社員の烙印を押されて会社を辞めようと思われた時期もありました。しかし、そのだめ社員を優良社員に変えたのが直属の上司であり、その方のリーダーぶりを手本にされ、今まで不振店舗を次々に優秀店舗に変えていかれました。その根底にあるのは「やったらやれるで」「誉めてのばせば人は化ける」ということであり、大きな懐をもったリーダーの技量と実行力で社員のやる気と能力を最大限に活かすことができることでした。

## 主催者挨拶

北では、日本海の荒波に立ち向かい、韓国漁船と鎗を削る漁民がいるからこそ、また、南は、顔の皮がむける程の灼熱の太陽を背負いながらも、歯をくいしばり、一本のテグスに全神経を集中する漁民がいるからこそ、世界に冠たる水産国兵庫なのであります。

現場での尽力に対しまして、敬意を表し、その労苦に想いを馳せる次第であります。系統を代表して、感謝申し上げます。

それぞれの浜のリーダーが、本日、一堂に会し、語り合い、講義を通じて、教養を深め、湯に浸かり、又、酒を酌み交わしながら、日頃の疲れを癒すことに本懇談会の意義があります。

先人よりの歴史、伝統の中、62会員諸氏におかれましては、組合員の負託に応えながら、その協同組合精神を、大いに発揮していただいて、系統利用を通じて、水産会館の礎となつておられます。

本日は、この温泉町において、第十九回組合長懇談会の開催にあたり、県下津々浦々より、組合長をはじめとし、県水産課、系統各位の出席によりまして、盛大なる開催の運びとなりましたことに対し、感謝申し上げます。

また、日頃、その意を酌まれ、県下JFに対し、特別の厚情を賜わっておりますこと、ここに改めて、お礼を申し上げる次第であります。

さて、私たち62組合長は、日々現場に直結し、常勤、非常勤にかかわらず、三六五日「浜の声」の内に身を置き、粉骨砕身、まさに身を粉にして、組合員の負託に応えんと、ある時は、経営者として、ある時は、裁判官として、またある時は、教育者として、歴史、伝統ある我が漁協の継承に思いを馳せている所であります。

それは、何よりもまず、組合員が「安心して、安全なる操業」が営まれることを基調としているところであります。

それなくして、漁家経営が成り立たず、それなくしては、一家の幸は成り立ちません。また、それなくして、組合経営が成り立たず、自立漁協もまぼろしであり、つまるところ系統団体もないわけであり、



兵庫県漁連会長 丸一 芳訓

このように、我々は、ますますの実績を積み重ね、高い評価を得るよう鋭意努力をしているところであり、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

六月二十二日就任以来、皆様方との顔合わせを樂しみに、又、会長としての指針を表明出来るめったにない機会を得られたこと、ここに感謝を申し上げますとともに、就任に対して、深いご理解、ご支援を賜りましたことお礼申し上げます。

最後になりましたが、この企画に快く応じて下さった浜坂漁協の熊本組合長をはじめ、関係者に対し、お礼を申し上げますとともに、62組合、三万人に幸多かれと、又、水産系統団体の益々の発展を祈念しまして、挨拶いたします。

よつて、系統団体存続の礎は県下一万人の漁民であり、62組合であります。

自然界にも循環作用があるごとく、我等、ここに集う組織も又、進化する循環の輪の中に身を置き、溜まったコレステロールや、発生した腫瘍の対応には即効性の西洋医学をもつて、又、体力、疲労の回復には副作用の少ない東洋医学をもつて、と、健全にして体力のある、健康な一個の生命体として進化することこそが、我等系統のトップリーダーに与えられた責務であります。

さらに浜の負託に応えてきた組合の、その負託に応えることこそが、系統団体の責務であり、そのことが、自然の循環であり、当然のことでもあります。

そのため組織は、私情に偏らず、広く会議を起こして論衡を行い、信賞必罰を旨とし、綱紀肅正に努め、浜と水産会館の信頼関係を不動のものとし、現場第一主義を掲げ、漁師と同じ汗をかき、職員の育成に努めることが肝要かと考えている次第であります。

事実、県漁連では、機構改革を実行し、末端の職員に至るまで、その自覚を促しております。

信漁連も又、新進気鋭の専務理事を置き、人心を一新し、その積極的姿勢を強く打ち出しているところであります。

## 漁船事故防止の取り組み



I、平成15年度は、表1・表2の実績表のとおり、本組合創設以来かつてない大額事故（座礁、沈没、防波堤衝突、船舶間衝突等）の多発により普通保険は支払保険金が三億八千九百三十万円（損害率は二一七％）で、未決事故を含む単年度損害額では五億円を超える最悪の年度になりました。

また、この事故の中には、尊い人命が一度に5名も失われると言う痛ましい事故もありました。

これらの事故の殆どが不注意に因るものであり、この教訓を生かし事故防止並びに事故の拡大防止を周知徹底するため、平成16年度は兵庫県但馬水産事務所を始め、兵庫県漁連但馬支所、香住漁業無線局、但馬海区漁業協同組合にも協力願ひ、各漁船（平成16年8月は底曳船を中心に59隻実施した。）を直接訪船し事故防止に関し下記の内容について呼びかけを行っています。

II、漁労油圧機器作動油の劣化汚損による事故を未然に防止するため、油メーカー特約店の協力を得て、油圧機器設置漁船に対し作動油の点検を実施しています。

- 1、事故が起きたら すぐ無線局へ 遭難（緊急）通信の方法をブリッチ等の見やすい場所へ！
- 2、無線局への通信
  - (1) 無線は常時聞けるように、或いは発信出来る状態にしておいて下さい。
  - (2) 出港・入港通知は必ず行って下さい。
  - ☆帰港30分前には、安全航行をしている旨連絡して下さい。
- (3) 船位の通知は、一日3回行って下さい。
- (4) 事故・遭難時は、無線局へ先ず一報を行って下さい。（無線局に連絡のない場合は、漁船保険金の一部免責が発生する可能性がある。）
- (5) 衝突事故は免れたが、衝突の危険を感じたときは、位置と、どのような船が居たのか情報を入れて下さい。
- (注) 外国船の違反操業（漁具の設置等）を発見したら連絡して下さい。
- 3、無線局から船舶へ
  - (1) 帰港時の30分〜1時間前に、航行の安全を呼び掛けますから、必ず応答して下さい。
- 4、『救命筏の展張方法』を、船長は少なくとも年間2〜3回程度行って、船員の全員に習得させて下さい。
- 5、『救命胴衣設置場所』と『着用方法』を、船長は船員全員に周知徹底させて下さい。

「普通保険」「船主責任保険（基本損害・乗客損害）」実績表

表1. (普通保険)

(単位：千円)

年度	引受隻数	保険金額	純保険料	支払件数	保険金	損害率
60	1,843	13,290,423	196,238	639	179,550	0.91
1	1,787	14,108,299	198,533	444	121,697	0.61
5	1,628	11,738,419	163,038	400	218,132	1.34
10	1,463	12,124,557	167,375	371	191,630	1.14
15	1,235	10,644,505	175,795	298	381,903	2.17

表2. (漁船船主責任保険)

(単位：千円)

年度	引受隻数	保険金額	純保険料	支払件数	保険金	損害率
60	1,840	46,422,347	38,525	42	71,565	1.86
1	1,778	64,492,372	47,533	17	15,878	0.33
5	1,625	83,935,272	37,007	28	65,745	1.78
10	1,452	114,881,617	38,083	27	71,437	1.88
15	1,223	149,420,000	38,340	35	36,791	0.96

(損害率=保険金/純保険料)

\*引受隻数は、昭和60年頃をピークに年々減少しており、普通保険の保険金額も26億円ほど減少しています。事故の支払保険金は「普通保険」「船主責任保険」ともに損害率が示すとおり増えている。

# 事故が起きたら、すぐ無線局へ

無線局から関係機関へ連絡します。

## 事故発生



## 遭難(緊急)通信の方法

香住局待受け周波数⇒中短波: 2182khz 1702khz 2232khz 超短波: 27524khz 27660khz

呼出し = 緊急 緊急 緊急 香住漁業 香住漁業 香住漁業 (舞鶴保安 舞鶴保安 舞鶴保安)

こちらは〇〇丸 〇〇丸〇〇丸  
(応答があるまで呼び続ける)

☆ 応答があれば ☆

状況報告 い つ : 〇〇丸は〇〇時  
どこで : 〇〇沖〇〇km N(北緯) E(東経)  
だれと :  
どうした : 浸水・火災・座礁・衝突

◎船体の状況... ◎乗組員の状況... ◎現在の海況...

- ◎1W及び25W送信機の周波数を27524khzにセットし赤いボタンを約5秒間押しすと注意信号(ビー)が発射、その状態で誰かが応答するまで叫ぶ。
- ◎退船時にとるべき手順
  - 1.生存艇(救命いかだ)に持ち込む物⇒EPIRB・SART・双方向無線電話
  - 2.生存艇(救命いかだ)に乗り移ったら 直ちにEPIRB・SARTのスイッチを入れる。
- ◎EPIRBは手動離脱装置の水圧センターの押しボタンを強く押しすと固定ワイヤーがはずれる。
- ◎船長以外の乗組員の方も無線機の操作が出来るように訓練してください。

## 水産物に関するWTO交渉

水産物に関するWTO交渉には、分野別関税撤廃、関税引下げ、非関税措置（IQ制度など）等についての「非農産品市場アクセス交渉」、漁業補助金等についての

「ルール交渉」による議論があり、林水産物貿易や環境の関係等については「貿易と環境委員会」において検討が行われます。

### 主要論点ごとの各国との連携

#### 7月末枠組み合意文書

##### ◆関税削減方式

・個別品目ごとに適用される定率でない関税削減方式に関する作業を継続。

我が国水産物などセンシティブ品目の事情にできる限りの配慮が行える柔軟性が必要。

#### 連携が期待できる関係国

我が国、台湾、韓国、イスラエル

##### ◆分野別関税撤廃

・特に途上国の輸出関心品目を考慮し、全ての加盟国の参加が重要であるとの認識。製品の範囲、参加及び途上国についての柔軟性を定義することを視野に入れて議論を継続。

今後の水産物が対象とならないよう、主張。

我が国、EU、台湾、韓国、イスラエル

##### ◆非関税障壁

・全ての加盟国が2004年10月31日までに非関税障壁の通報を行うことを促す。

水産物IQについては、資源保存のための必要性を主張し、役割機能の維持を目指す。

我が国のみ

##### ◆ルール交渉

・全ての交渉分野の全てを進展させるという加盟国のコミットメントを再確認。

水産資源の保全の観点に適切に配慮した漁業補助金の取り扱いの必要性について、主張。

我が国、EU、台湾、韓国

## IQ制度の概要

・IQ（輸入割当）制度は、我が国の沿岸・沖合漁業の主要対象種（のり・イカ・アジ・サバ等）を対象。

### IQ制度の役割

わが国は、持続可能な開発の観点から、近隣諸国との共有資源その他の水産資源の適切な保存管理のため、IQを実施。

### IQ品目 (17種)

( )は主要生産県

- |                            |                 |                                  |
|----------------------------|-----------------|----------------------------------|
| ①あじ(長崎、島根、茨城)              | ⑦太平洋にしん         | ⑬干しするめ                           |
| ②さば(長崎、茨城、静岡)              | ⑧その他のにしん        | ⑭のり(兵庫、佐賀、香川)                    |
| ③いわし(茨城、千葉、福島)             | ⑨たら卵            | ⑮ばら干あおのり、ひとえぐさ                   |
| ④ほたて(北海道、青森、宮城)            | ⑩すけそうだら         | ⑯ぶり、さんま、貝柱、煮干し                   |
| ⑤たら(北海道、岩手、青森)             | ⑪こんぶ(北海道、岩手、青森) | ⑰韓国産水産物※                         |
| ⑥いか(青森、北海道、長崎、 <u>兵庫</u> ) | ⑫こんぶ調製品         | (あじ、さば、いわし、たら、ほたて、ぶり、さんま、貝柱、煮干し) |

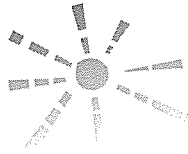
※「韓国水産物枠」は、外枠として、韓国産水産物の対象品目について、金額上限を設定。(2003年 4,500万ドル)

# WTO新ラウンド、枠組み大枠合意

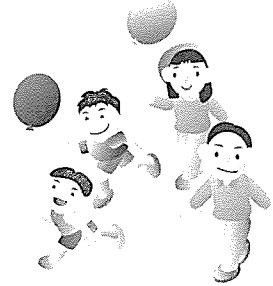
WTO・FTAこれからが本番

7月23日から31日にかけてジュネーブで開催された総理事会では、今後の水産物関税等削減を決める枠組み合意がなされた。しかし、問題が先送りされたままの大枠合意であり、今後の交渉の中で、日本のIQ制度などが焦点になることが予想され、予断は許されない状況です。

9月末からジュネーブが始まるルール交渉や、本格化してきたFTA交渉なども気の抜けない状況となっており、今後とも本件に関心をもって、対策活動等に協力いただきますようお願いいたします。



## マリンスクール開校



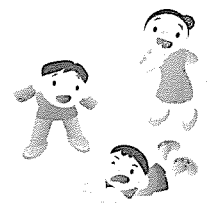
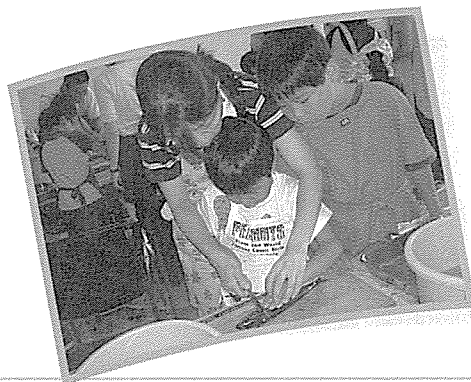
すっかり夏の恒例イベントとなっているマリンスクールをJF神戸市(7月30・31日)とJF明石浦(8月5～7日)において開催いたしました。

このマリンスクールはコープこうべと協同組合間提携事業として実施しており、今回でJF神戸市コースは22回目、JF明石浦コースは21回目を迎えます。

JF神戸市コースは普段見ることのできない「セリ風景見学」で始まります。続いて「クイズでたるみのお魚を知りまSHOW」で、大きなスクリーンを見ながら神戸の漁業や魚について説明を受けた後、復習を兼ねて体を動かしながら〇×クイズを行います。次に水着に着替えて「魚のつかみ取り」。タコ、アジ、ベラ等の魚を追いかけるけれど思うようにはつかみません。その後、一人1パイ、勇気を出してタコのスミを抜き、ナイロン袋の中で塩もみをしました。

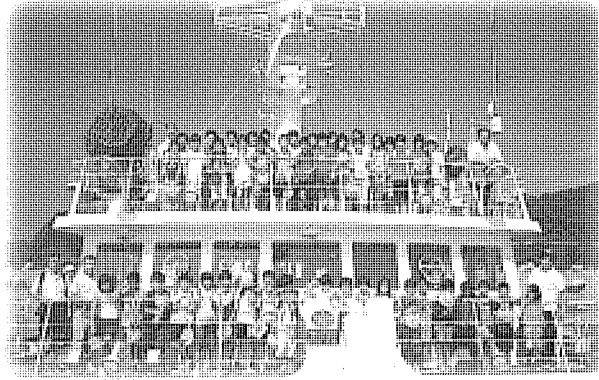
一方、JF明石浦コースは午前10時30分にスタートし、最初は「魚と漁業のお話とクイズ」。スクリーンに映し出される魚の目の正体や、漁法別に獲れる魚の説明をクイズ形式で行います。続いて親子料理教室の第一部「タコの塩もみ」です。生きたタコのスミを抜き、ザルで塩もみをします。次に、市場に下り「セリ風景見学」をした後は昼食です。メニューは料理教室で塩もみしたタコを中心にした手巻寿司や唐揚げ等です。昼からは親子料理教室の第二部「魚の三枚おろし」です。アジもしくはサバを材料に三枚おろしを習います。次に水着に着替えて「タコのつかみ取り大会」。一人10パイを目標に親の応援に加え、水槽内の子供の歓声とも悲鳴ともとれる大声が響きました。

最後に感想文・アンケートを書いて閉会となります。感想文にはタコや魚のつかみ取りの体験が印象に残った内容が多く、それぞれに夏の思い出になったことと思います。

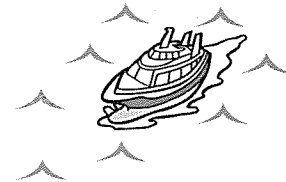


## 香住高校漁業実習船で「水産少年教室」を開催

～浜坂町漁協諸寄青壮年部(浜根秀樹部長)主催～



県立香住高校の実習船「但州丸」(499トン)に乗って底びき網漁等を見学・実習する「水産少年教室」が6月30日、香住町沖で行われ、浜坂町立浜坂西小学校の4、5年生38人が約5時間、乗船しました。児童らは船で漁の様子を見るのは初めてで、作業の苦勞や魚が捕れる喜びを感じながら、海の仕事を学びました。諸寄漁業青壮年部が、「実際の漁業等を肌で感じてもらうことにより、小学生のころから海に関心を持ってもらい将来の漁業後継者育成につながれば」との強い思いから浜坂西小学校と企画し、県立香住高校や県但馬水産事務所、居組・諸寄底びき船主会などの協力で初めて行ったものです。但州丸は香住東港を出港。香住町沖約7kmの漁場で、水深約120mの海底で底びき網を約30分行うと、カレイやタイ、アジ、マトウダイなどの魚があがりました。中には水を吸って腹を膨らませることができる体長1mのナヌカザメもあり、児童らは嬉しそうにいつまでも触っていました。船上では、児童らも手伝ってタイなどを刺身にして食べたり、プランクトンネットを使って採取した海の微生物を顕微鏡で観察も行いました。バスに乗り込み、嬉しそうに帰って行く児童を見て、漁業者をはじめとする関係者の心に「但馬の漁業は明るい」と確信が持てたのでした。



### 8月号クロスワード 正解と当選者

正解  
シンザンユウコク

シ	オ	イ	キ	ウ	ツ	シ
モ	ウ	コ	ヨ	ナ	タ	
ヤ	ゴ	ト	ウ	ザ	サ	
ケ	ン	コ	ン	イ	ツ	テ
	ブ	コ	ク	ソ	ク	サ
マ	ン	ユ	ウ	ウ	コ	ン
ワ	カ	メ	キ	ウ	ズ	
シ	ツ	ジ	ツ	ゴ	ウ	ケ



- 由良町漁連——鳥坪 勝 様
- 境港漁業調整事務所——加茂 京子 様(家族)
- 明石市産業振興部農水産課——渡辺 慎介 様
- JF沼島——山田 初代 様
- 由良町漁連——越野 福美 様

※抽選により以上5名の方に図書券を送らせていただきます。  
たくさんのご応募ありがとうございました。





行事予定 <変更になる場合があります>

### JF兵庫漁連

9月 15日(水)	14:30~ 全漁連石油部会(コープビル)
16日(木)	13:30~ 全漁連理事会(コープビル)
10月 3日(日)	第24回 全国豊かな海づくり大会(高松)

### JF兵庫信漁連

9月 24日(金)	定例理事会 (予定)
--------------	---------------

### JF兵庫漁連・JF兵庫信漁連・JFぎよさい兵庫

9月 13日(月)	13:00~ 企画幹事会(中会議室)
22日(水)	13:00~ 政策会議(中会議室)

### JF共水連兵庫

9月 13日(月) ~14日(火)	プロジェクト会議 (コープビル)
14日(火) ~15日(水)	H16年度普及推進会議 (コープビル)
15日(水)	経営企画委員会(コープビル)
16日(木)	経営管理委員会・ マネジメント改革特別委員会 (コープビル)

### 基金協会

9月 29日(水)	13:30~ 保証審査委員会(信連会議室)
30日(木)	15:00~ (社)漁業信用基金中央会理事会 (東京)
10月 28日(木) ~29日(金)	山陽四国ブロック 常勤役員参事会議(大阪)

### 内海漁保

10月 5日(火) ~6日(水)	近畿・四国ブロック協議会 (大阪)
7日(木) ~8日(金)	役員・総代研修会・海上安全祈願祭 (塩電神社)

### 但馬漁保

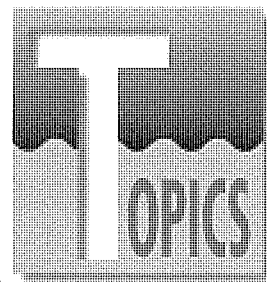
10月 6日(水) ~7日(木)	北陸・山陰地区 漁船保険等事業運営協議会 (松江市)
------------------------	----------------------------------

### 漁港協会

9月 13日(月)	14:00~ 用宗漁港視察(静岡)
14日(火)	10:00~ 第56回全国漁港漁場大会(静岡)

### ひょうご豊かな海づくり協会

10月 20日(水)	理事会・評議員会
---------------	----------



### 振興基金

9月 29日(水)	13:30~ 理事会(中会議室)
--------------	---------------------

### 兵庫県

9月 16日(木)	10:30~ 常任委員会
24日(金)~ 10月7日(木)	県議会
27日(月)	13:00~ 但馬海区漁調委 (但馬漁業センター)
30日(木)	13:30~ 瀬戸内海海区漁調委

### 系統団体

9月 30日(木)	13:30~ 専務参事会(中会議室)
--------------	-----------------------

### その他

9月 17日(金)	16:00~ 播磨漁友会理事会(播磨漁友会館)
21日(火)	14:00~ 瀬戸内海水産開発協議会総会
26日(日)	13:30~ 新生兵庫講演会(国際会館)



## 子どもたちに もっと野球の楽しさを

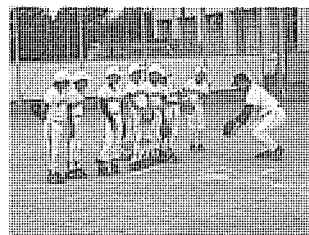
神戸市西区伊川谷の少年野球チーム「別府ハヤブサーズ」。小学校1年生から6年生までの男女約50名が所属するこのチームのコーチを務めるのが田中さんです。息子さんが野球チームに入ったのをきっかけにコーチになり、今年で5年目。毎週日曜日と祝日の朝8時から夕方5時まで、小学校のグラウンドを借りて子どもたちとともに汗を流しています。

兵庫区、須磨区、明石市まで遠征に行き、試合をすることも多いという「別府ハヤブサーズ」。保護者を中心としたボランティアによるチーム運営であるがために起きうる指導者間の考え方の綻れ、保護者からの様々な注文等、子どもに野球を教える以外の事での難題難問も多々あるそうですが、試合に勝った時や活躍した時の得意そうな子どもたちの表情がコーチとしてのやりがいを感じさせてくれるそうです。

「5年間の経験で感じる事。仕事にも共通することだが、



JF兵庫信漁連  
営業部 田中 賢太郎 たなか けんたろうさん



大人、子ども関係なくコミュニケーションを頻繁にとることが最も大事。子どもと共に自分自身も教育を受けている。」

少子化が進み、解散せざるを得ないチームが多い中、「別府ハヤブサーズ」は比較的人数を確保しており、やめる子どもも少ないそうです。みんな野球が好きなんだと思う、と誇らしげな田中さんですが、その情熱が子どもたちをひきつけるのではないのでしょうか。

息子さんが卒業しても、野球が好きなので、しばらくはコーチを続けようかな?と話す田中さん。現在の目標、三木市で開催される5年生の大会「若鷲杯」への初参加、初優勝を目指して、これからも「別府ハヤブサーズ」と田中コーチの戦いは続きます。

今、JA・生協では

## 吉川町に日本初の酒米ミュージアム 「山田錦の館(やかた)」が オープン!



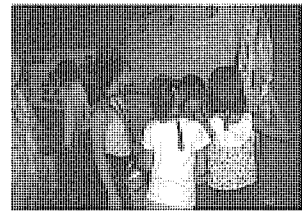
山田錦で醸造した日本酒が並ぶ

JAみのり管内で、酒米“山田錦”の産地・吉川町に「山田錦の館」がオープンした。日本で初めての酒米ミュージアムとあり、各地から大勢の人々が訪れている。館内では、パネルやジオラマで山田錦の誕生秘話や栽培方法などが見て学べる。山田錦が日本酒になるまでの製造工程や日本酒の効能なども紹介され、日本酒の魅力を再発見できると好評だ。日本酒を体感できるスポットとして人気のブース「おためし処・蔵」では、兵庫県産の山田錦を使用し、兵庫県内で造られた日本酒が味わえる。レストランでは、地域食材を使った料理とともに、日本酒ベースのカクテルが楽しめる。今後も、新しい飲み方の提案などにより、広い世代に日本酒をPRしていく。また、地域住民によるバンド演奏など、お楽しみ企画も計画していく。同館では、銘酒をお土産として購入することも可能。入館は無料。中国自動車道吉川インターチェンジから車で5分。日本一の炭酸含有量を誇る温泉「よかたん」に隣接している。

<http://www.zenchu-ja.org/>

## ～ピースアクションinヒロシマ～ 「生協虹のひろば」に 県内生協から36名が参加

今年も、日本生協連と広島県生協連とが主催する「2004年生協虹のひろば」(8月5日)に全国の生協から約1,000人が参加し、兵庫県生協連の会員生協からは36名(コープこうべ8名、阪神医療生協11名、神戸医療生協5名、尼崎医療生協6名、宝塚医療生協2名、姫路医療生協5名)がピースアクションinヒロシマ「生協虹のひろば」に参加しました。ピースアクションinヒロシマでは「親子で参加するフィールドワーク」や「食べるピース交流会」、「ピースフォーラム」、「虹のひろば」などに参加。また、原爆ドームや資料館の見学、学習会を通して、核兵器の恐ろしさ戦争の悲惨さを学習し、あらためて平和の大切さをかみしめました。8月5日(木)に広島県立総合体育館グリーンアリーナで行なわれた「生協虹のひろば」は、日立因島生協の組合員さんによる「姫太鼓」で幕が開きました。まず、品川尚志日本生協連専務理事が主催者を代表して挨拶。続いて、秋葉忠利広島市長より「世界各地では暴力と報復の連鎖が連鎖しているが、来年の被爆60周年を前に人類未曾有の体験であった被爆という原点に戻り、未来に平和の種をまく必要がある。来年の核不拡散条約再検討会議に向けて核兵器廃絶のための緊急行動を展開し2020年までに地球上から核兵器をなくしたい。」との来賓挨拶がなされました。この後、ピースアクションのビデオ上映、被爆の証言、ヒロシマ虹のひろば合唱団による合唱と続きました。第二部の「みんなのひろば」では、会場いっぱいに展示コーナーが設けられ、たくさんの子どもたちが展示を見たり、体験コーナーで折鶴をつくらったり、ピースメッセージを書き込んだりしました。展示コーナーでは、ピーススリラー2004兵庫県実行委員会として取り組んだ「ピースメッセージ」とピーススリラー期間中実施した「平和のつどい」でいただいた折鶴を展示しました。スペースに限りがあるため、組合員さんから寄せられた数多くのメッセージすべてを展示することはできませんでしたが、代表して展示されたメッセージにたくさんの方々が目を通してくださいました。



<http://www.co-op.or.jp/jccu/>

## “日本玩具博物館コレクション「兵庫の郷土玩具」と「ちりめん細工」展”の開催について

### 展示場所

兵庫県公館県政資料館「兵庫の文化」展示室(展示室7)

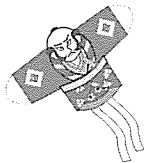
〔神戸市中央区下山手通4-4-1  
神戸市営地下鉄「県庁前」駅下車すぐ  
JR・阪神「元町」駅 徒歩約5分〕

### 展示期間

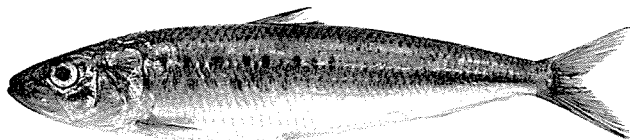
平成16年7月24日(土)～平成16年10月2日(土)〈予定〉の月～土曜日

〔平日/9:00～17:00 土曜日/10:00～16:00〕

※毎週土曜日は、県公館の一般開放日になっており、県政資料館だけでなく迎賓館部門もご覧いただけます。



兵庫県公館県政資料館の「兵庫の文化」展示室では、兵庫県にゆかりの芸術家の作品等を展示し、来館者にご覧いただいておりますが、7月24日(土)からは、夏休み期間に入ることもあり、大人も子供も楽しんでいただける企画として、日本玩具博物館(香寺町)の代表的なコレクションのひとつである兵庫の郷土玩具とちりめん細工を展示します。同館は、今秋11月に開館30年を迎える国内最大級の玩具博物館で、館長が「観光リソース百選」にも選ばれております。県政資料館は平日と土曜日に開館しており、入場無料で自由にご覧いただけますので、是非お立ち寄りください。



今月のさかな

イワシ

標準和名：マイワシ、ニシン目ニシン科

かつて「海の米」と例えられたほど、たくさん獲れたイワシ。縄文時代の貝塚から骨が発見されたり、奈良時代には税として干物を納めたり、肥料や飼料に使われたりと、日本人とは付き合いの長い魚です。しかし、庶民の味として親しまれた大衆魚の王様も、近年漁獲高が減っているために高級魚へと変わってしまいました。

「海の米」と呼ばれたのは、何も漁獲高のためばかりではありません。その栄養価の高さからも、重要な食品だからです。イワシの脂肪には、コレステロール値を下げ、脳血栓や動脈硬化を防ぐEPA(エイコサペンタエン酸)、脳の発育を助け、ボケを防止するDHA(ドコサヘキサエン酸)が豊富に含まれています。また、イリコや丸干しにすれば骨ごと食べられ、カルシウムを効率よく摂取することができます。骨粗鬆症の予防にもなります。体長により、大羽(20cm以上)、中羽(10~20cm)、平子

(3~10cm)、シラス(3cm以下)と呼び名が変わり、中羽以上は塩焼きや煮つけに、シラスはチリメンジャコにと、大きさによってさまざまな料理が楽しめます。味わい方も多彩です。

ところで、イワシは漢字を「弱い魚(鰯)」。水揚げした後、すぐに鮮度が落ちることからこの漢字が使われるようです。「ヨワシ」がなまったという説や、平安時代には「下魚」とされ、卑しい魚ということから「イヤシ」と呼ばれたのが語源という説もあります。とはいえ、かの紫式部もイワシを好んで食べていたとか。大衆魚といわれながら、身分の高い方々にも愛されたのは、やはり、美味しいからでしょう。

イワシの姿は、食卓以外に水族館でもおなじみかと思えます。巨大水槽の中を、大きな群で泳ぐ姿は壮観ですよ。天然のイワシも、大海にあのような群をつくりまわります。外敵から身を守るため、といわれていますが、逆に目立

ちすぎるのか、海中だけでなく空からも狙われ、多くの生命を支える糧となっています。沿岸からやや沖合の水深100mあたりを、水温変化とともに北へ南へと回遊しながら、ブリやマダラ、イカといった、私たちになじみ深い魚に食べられることで、その成長を助けているのです。

さて、「イワシの頭も信心から」という言葉をご存じですか? イワシの頭のようにとるにたらないものでも、信じれば貴いものに見えるという信仰心の不思議さをたどった言葉です。魚介を好む日本人にとって、なくてはならないイワシを「つまらない信仰の代表」とするなんて、失礼ですよ。けれどそれも昔の話。現代ではその栄養価が科学的に証明されていますし、美味しさは皆さんご存じのとおり。ご自身やご家族の健康と成績アップのために、イワシ教の信者になってみてはいかがでしょうか?

丹波の森国際音楽祭  
シューベルティアーデたんば  
2004

このたび皆様のおかげをもちまして、10回目を迎えた「丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば」を開催させていただき運びとなり、9月12日(日)のオープニングコンサートを皮切りに、10月31日(日)のファイナルコンサートまで、丹波各地はシューベルティアーデで彩られます。

10日記念の今回は、今年のフランス(シューベルティアーデたんばのシンボルアーティスト)に新鋭ピアニスト片山優陽氏を起用するとともに、国内外で活躍中のアーティストをお迎えし多彩なプログラムを企画しています。

2004ファイナルコンサート

魅惑のソプラノと名ピアニストが奏でる  
シューベルトの生涯

~人生の嵐~

会場

丹波の森公園ホール  
(柏原町柏原5800)

特別ゲスト

河合 雅雄  
(指揮者、丹波の森公園長)

日時

10月31日(日)  
14:00~18:00

出演

ウルスラ フィードラー  
(ソプラノ)

料金

◆一般  
3,000円  
(当日3,500円)

小林 道夫  
(ピアノ)

片山 優陽  
(ピアノ)

ボリス ベクテレフ  
(ピアノ)

畑 儀文  
(テノール)

◆大学生以下  
1,000円  
(当日1,500円)

※会員は1割引  
(全席自由席)

編/集/後/記

本号より編集担当をさせていただきこととなりました。本誌がたくさんの方々の協力の下に発行されていることを改めて感じました。皆様のご指導・ご協力を得ながら紙面の充実を図る努力をしていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。 (10)



豊かな海を取り戻すための

# 挑戦

ウチの  
漁協!

No.17

JF 江井島



漁協近くにある  
行基大菩薩の碑

道路沿いに植えられた「パームツリー」が南国気分を演出する江井島海水浴場。その西側に位置する江井島漁港は、東大寺の大仏造立に尽力した行基が開いたといわれる歴史ある港です。この辺りの海岸は、浸食により露出した古代地層の断崖が続き、屏風のように見えることから「屏風ヶ浦海岸」と呼ばれています。昭和24年、江井島漁業協同組合はこの海岸の名前を取り、屏風ヶ浦漁業

協同組合という名前でスタートしました。

江井島の主な漁業は、80～90%の組合員が携わるノリ養殖です。江井島は地形的にもノリ養殖に適しているため、ここで育つノリには深い味わいがあります。ノリ養殖が本格化したのは昭和43年のことですが、そのきっかけは、昭和38年にまでさかのぼります。昭和37年の暮れから38年の1月にかけて発生した北陸大寒波の影響により、低温に弱いマダコが全滅したのです。それまでタコ漁が中心だった江井島では、これを機にタコ漁と並ぶもうひとつの漁業の柱を作るべく、取り組みを始めました。それがノリ養殖だったというわけです。努力の甲斐あって今ではすっかり江井島の中心的漁業となったノリ養殖ですが、若い組合員を中心に「ノリ研究会」が作られるなど、日々おいしいノリを食卓にお届けするための研究を続けています。この情熱こそ、江井島のおいしいノリの秘密といえるかもしれませんね。

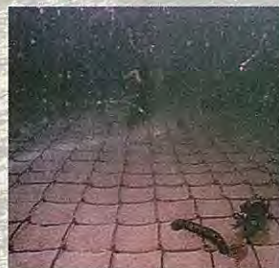
ノリ養殖の行われない初夏～秋にかけては漁船漁業が行われています。底引き網漁と刺し網漁によってスズキ、タイ、タコ、カレイ類などを獲っています。しかし、近年、これらの魚が少なくなっています。乱獲など、いろいろな原因が考えられますが、そのひとつに藻場が少なくなったことが挙げられます。昔はたくさんいたにも関わらず、その姿を見かけなくなったもの

にモンゴウイカやアサリなどがあります。これらは、アマモなどの藻に卵を産みつけるため、その産卵場がなくなったことで数が減ったと考えられるのです。危機感を募らせた江井島漁業協同組合では、海水浴場に少しでも残る自然の藻場を人工的に増やそうと、4～5年前からアマモの種を買い付けて、藻場の育成を行ってきました。初めはほんの一角で実験的に行っていましたが、2001年11月17日、アマモの種を植え付けた10×30mの大きな「播種シート」を海底におろし、本格的に取り組みを始めました。現在も毎月アマモの種の発芽状況を確認していますが、成果は徐々に現れており、アマモは着実に増えてきています。産卵場ができたことで、一度は全く見かけなくなった魚や貝などを再び目にもすることも増えてきました。

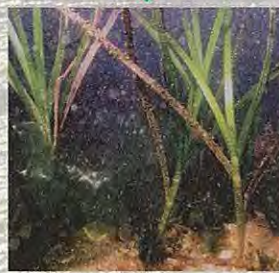
アマモの育成だけでなく、タコ壺に入った子持ちタコはすべて組合で買い取り、海へ再放流しています。また、稚魚育成場を作る目的で兵庫県が設置している禁漁区に組合員が入った場合は、1週間の沖止めという重い罰則を定め、その取り組みに協力しています。

このように、現在だけでなく、未来の海の姿を見据えた試みを行うためには、組合員の強固なチームワークが必要です。このチームワークを作るため、江井島漁業協同組合では、普通の組合が1年に1回行う総会を、毎月開催しています。このため、組合の方針は組合員一人ひとりに行き渡り、全員が同じ目標に向かって行動することができるのです。この鉄壁のチームワークで、今後もかつての豊かな海を取り戻すための活動が続いていくことでしょう。

## アマモ発芽状況の経過



播種シート敷設直後



約7カ月後

## <漁協メモ>

江井島漁業協同組合  
代表理事組合長 橋 輝幸  
組合設立日：昭和24年9月20日  
組合員数：正組合員65名、准組合員27名／計92名  
漁獲数量：123.6トン

